



メルコグループ Business Report

2016.4.1 — 2016.9.30

中期経営ビジョンと コーポレートステートメントの下で 引き続き、さらなる発展と 永続的な成長を

 株式会社メルコホールディングス

 代表取締役会長

 牧



薄型テレビ市場は拡大するも デジタル家電業界は厳しい状況を継続

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所得や雇用環境に改善がみられ、個人消費は拡大基調となりましたが、円高の進行などにより企業収益が頭打ちとなり、景気回復のペースは緩やかなものとなりました。世界経済では、アメリカ経済は堅調に推移しましたが、英国のEU離脱交渉の先行きが依然不透明であり、新興国・資源国の成長鈍化により、不確実性の高い状況が続きました。

当社グループに関係するデジタル家電業界においては、パソコン市場が引き続き緩やかに縮小していくのに加え、タブレット市場も低迷するという厳しい状況が続きました。しかしながら、スマートフォン市場ではiPhone*の新モデル導入により低迷に歯止めがかかり、薄型テレビ市場は、高画質4Kテレビの普及により拡大するなど、前向きな兆しが見られました。

※ iPhoneは、米国Apple Inc.の商標です。

シェア堅持も価格競争が激化 減収の中で増益を実現

こうした状況の中、当社グループは、個人向け市場では市場シェアの拡大・堅持と高付加価値製品の販売拡大に努めました。ネットワーク製品では広い住まいからワンルームまでお客様のニーズに合わせた製品開発を進めたことによりシェアを広げ、前年同期を上回る実績となりました。法人市場では、ストレージとしてのパフォーマンスと信頼性を追求したNASの新シリーズ、文教向け無線LANなど、お客様の利用シーンに合わせた製品の開発や販売に注力しました。また海外市場では、法人向けを中心とした販売網の整備などにより収益性の改善に努めました。

周辺機器事業では、ネットワーク製品をはじめ主要製品でのシェア拡大を実現したものの、パソコン市場の縮小による関連製品の販売減少や、価格競争の激化や不採算製品の販売抑制などの影響により、売上高においては前年同期を下回りました。

一方で、海外での構造改革による収益性の改善及び円高に伴う 原価低減効果が奏効し、増益につながりました。

サービス事業では、「アパートWi-Fi*」が前年同期比約300%の売上増となる一方で、縮小する光回線の代行設定サービスの売上減少の影響を受けることとなりました。

金融事業は、前期に引き続き好調を維持し、増収増益となりました。

これにより、当第2四半期連結累計期間の当社グループの 業績は売上高358億22百万円(前年同期比8.0%減)、営業利益 25億70百万円(同39.0%増)、経常利益33億6百万円 (同44.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益24億 41百万円(同55.8%増)の減収増益となりました。

※ Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

メルコバリュー

■ 千年企業

私たちは、先人の教えを真摯に学び活用し、常に未来を見据え、メルコバリューを共有する全ての人たちとともに、メルコグループの永続的な成長を目指します。

■顧客志向

私たちは、常にお客様の視点に立ち、より良い社会生活の実現に 資する商品・サービスを提供し続け、私たちの智恵と努力が社会の 発展に寄与することを喜びとします。

■ 変化即動

私たちは、世の中の変化に目をそむけず、誤りに気付いた時は引き返す勇気を持ち、常に自己研鑽に励み、自己変革を目指して行動します。

■ 一致団結

私たちは、フェアーアンドオープンの精神で、高い志と情熱を共有する人たちと共に、いかなる困難をも乗り越え、一丸となって目標を達成します。

連結売上高 (単位: 百万円)



連結経常利益 (単位: 百万円) 連結売上高経常利益率 (単位: %)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円) 連結売上高当期純利益率 (単位: %)



1株当たり当期純利益(単位:円)



より快適に、いっそう使いやすく、 お客様の牛活やビジネスをサポートしていきます。

周辺機器

■ネットワーク製品

パソコンやスマートフォンなどでのデー タ共有や、インターネット接続を可能に する製品。Wi-Fi環境が学校教室、観光 地などで一般化する中、通信の安定性を 実現し快適な無線LAN環境を提供する 製品の開発を強化しています。

■ストレージ製品

データを保存する記憶装置。テレビ録画 用途に適したデザイン、高信頼のハード ディスクを搭載した外付けハードディス クや遠隔地からネットワーク監視できる 機能を搭載した法人用 NAS など、高信頼 高性能を実現した製品を提供しています。

■サプライ・アクセサリー製品

マウス、キーボードなどの入力機器を はじめ、タブレット用アクセサリーを ラインナップ。iPhone (※1) やAndroid を自動判別する機能を搭載したUSB充電 器など、使い勝手の良い製品の開発に 注力しています。







法人向け アクセスポイント



外付けハードディスク



法人向けNAS



プレミアムフィットマウス



USB充電器

メモリー製品

写真や動画をたくさん撮影して空き容量が少なくなった iPhoneの容量不足を解消できるUSBメモリーなどの付加価値 の高い製品のほか、産業用組込み用途では信頼性の高いDDR4 対応製品など法人向け製品の開発を強化しています。





その他

パソコン自作ユーザーに人気のPCパーツブランド「玄人志向」、 写真をデジタルで楽しむデジタルフォト・アルバム「おもいで ばこ」、ハイレゾ音源を保存する専用のミュージック・ライブ ラリーなど、PCテクノロジーを応用したさまざまな製品群を 提供しています。



おもいでばこ



ハイレゾ・ミュージック・ライブラリー

※1 iPhoneは、米国Apple Inc.の商標です。

サービス



アパートWi-Fi

個人・法人・アパートオーナーなどを対象にさま ざまなサービスを展開。訪問設定から保守サービ スまで、利用者に合わせたサポートを拡充。無線 LANレンタルサービス "アパートWi-Fi" は事前 調査から保守までトータルでサポートします。 さらに建築現場などの短期利用向けのNAS・監視 カメラレンタルサービス「BITSレンタル」を開始 するなど、自社の新規サービス拡大に努めています。





金 融

金融事業は、新興国経済の低迷など世界的に市況が厳しい中、投資運用業や 金融商品仲介業などで堅調に推移しています。

Topics

小規模店舗・オフィス向け 監視カメラシステム

Surcam(サーカム)発売!

株式会社バッファローでは、小規模店舗やオフィス向 けの監視カメラシステム[サーカム]を2016年8月下 旬より販売を開始しました。従来の会社向けの監視力 メラは多機能ながらも初期費用や維持費が高額で、導 入を諦める店舗やオフィスが多かった中、「サーカム」 は「見る」「撮る」に機能を絞ることで、低価格を実現。 もちろん、10m離れた場所からでもはっきりと顔が判 別できる高性能力メラなど、高いクオリティーはその ままです。しかも、パソコン不要、ケーブルをつなぐだ けで誰もが簡単に設置可能。防犯以外にも映像でのミ ス特定など、業務効率向上にも役立てられています。





「サーカム」はシーンを選ばず 仕事の今を手軽にチェックできます。













標準2调問録画

10m離れても 顔までわかる鮮明画質



夜間撮影も 赤外線でバッチリ

連結売上高推移

(単位:百万円)

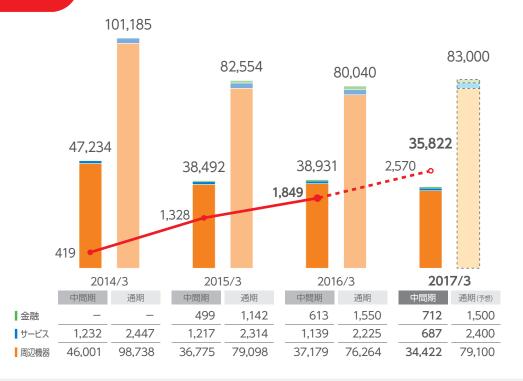
金融

サービス

周辺機器

連結営業利益

(単位:百万円) →



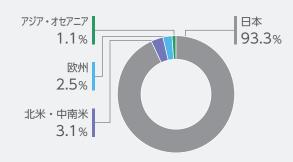
海外売上高

2,417百万円 34.1%減 🗸



海外は、NAS製品を中心に製品ラインナップの絞り込みを行いました。 その結果、売上高は24億17百万円(前年同期比34.1%減)となりました。

地域別売上高比率



海外売上高推移 (単位: 百万円)



部門別連結売上高



周辺機器



周辺機器事業の売上高は、個人向け市場において、ネットワーク製品をはじめ主要製品においてシェアの拡大を実現したものの、 価格競争の激化などの理由で前年実績を下回った結果、344億22百万円(前年同期比7.4%減)となりました。営業利益は海外での 構造改革及び円高による原価低減効果が奏効し20億48百万円(同54.7%増)となりました。 主な製品別の状況は、以下の诵りです。

【ストレージ製品】ストレージ製品では、国内個人向け市場は前年度並みを維持する中、テレビ録画用HDDを中心 に市場シェアを伸ばしました。しかしながら、販売単価の下落により、売上高は111億円92百万円(同5.4%減)と なりました。NAS製品では、大容量データの転送時間を大幅に短縮する製品を法人向けに上市し、高付加価値製 品の販売強化に努めました。しかし、国内個人向け市場においてトップシェアは維持したものの、販売台数は前年同 期比16.9%減少し、売上高は48億19百万円(同18.0%減)となりました。

【ネットワーク製品】ネットワーク製品では、広い住まいでも通信が安定するモデルからワンルーム用まで、 お客様のニーズに合わせた製品開発を進めたことによりシェアを伸ばしました。法人市場向けでは、多台数接続 時の安定性能を実現した文教向け製品並びに耐環境性能を実現した製品の販売拡大に注力しました。その結果、 販売台数は前年同期比8.2%増加し、売上高は98億31百万円(同6.3%増)となりました。



【メモリー製品】メモリー製品では、パソコン用の増設メモリー市場の縮小や、OEM案件の減少により、販売 台数は前年同期比で29.7%減少し、売上高は12億90百万円(同42.0%減)となりました。フラッシュメモリー 製品では、国内個人向け市場は前年度並みを維持する中、USBメモリー市場での販売は堅調に推移してシェアを 伸ばしましたが、産業機器向けカスタム製品の販売が減少しました。結果、販売台数は前年同期比で11.7%増加 したものの、売上高は24億円42百万円(同14.2%減)となりました。



【サプライ・アクセサリー製品】サプライ・アクセサリー製品では、感性評価に基づく機能性とデザイン性を備 えたマウスを上市するなど、高付加価値製品の開発・販売に注力しました。しかし前期より不採算製品の整理を 進めたことを受けて、売上高は27億51百万円(同11.7%減)となりました。



【その他】その他製品では、ハイレゾオーディオ・ブランド[MELCO]やデジタルフォト・アルバム[おもいで ばこ」の販売に注力しました。その結果、売上高は20億95百万円(前年同期比2.9%増)となりました。





サービス

687百万円 9 39.7%減 🗸



サービス事業では、アパートオーナー向けの無線LANレンタルサービス「アパートWi-Fi*lの大幅拡大に取り組み、前年同期比 約300%の売上増になりました。しかし、普及率の向上に伴い縮小している光回線の代行設定サービスの売上減少までは補いきれず、 結果、売上高は6億87百万円(前年同期比39.7%減)となり、営業利益は、17百万円(同89.9%減)となりました。



金



金融事業では、世界的に市況が厳しい中を堅調に推移し、売上高は7億12百万円(前年同期比16.1%増)、営業利益は4億17百万円 (同33.6%増)となりました。

■連結貸借対照表

(単位:百万円)

当中間期 前 類 2016年 9月30日現在 2016年 3月3	明 1日現在
(資産の部)	
流動資産 57,262 60	,476
固定資産 6,872	,506
有形固定資産 622	619
無形固定資産 851	968
投資その他の資産 5,399 2	,917
資産合計 64,135 64	,982
2 [負債の部]	
流動負債 19,027 18	3,671
固定負債 2,420 2	,507
負債合計 21,447 21	,179
③【純資産の部】	
株主資本	
資本金 1,000 1	,000
資本剰余金 774	774
利益剰余金 48,027 45	,993
自己株式 △6,898 △3	3,831
株主資本合計 42,903 43	,936
その他の包括利益累計額	
その他の有価証券評価差額金 141	190
繰延ヘッジ損益 △37	△50
為替換算調整勘定 △272	233
退職給付に係る調整累計額 △47	△40
その他の包括利益累計額合計 △215	133
純資産合計 42,688 43	,803
負債・純資産合計 64,135 64	,982

POINT

① 資産の部

総資産は641億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ 8億47百万円減少しました。流動資産は572億62百万円と なり、32億13百万円減少しました。これは主に、現金及び 預金の増加10億41百万円、受取手形及び売掛金の減少 11億70百万円、有価証券の減少30億円、商品及び製品 の増加1億83百万円によるものです。固定資産は68億72 百万円となり、23億66百万円増加しました。これは主に、 投資有価証券の増加24億98百万円によるものです。

② 負債の部

負債合計は214億47百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億68百万円増加しました。流動負債は190億27百万円となり、3億55百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加9億53百万円、未払法人税等の増加5億3百万円、未払金の減少7億45百万円によるものです。固定負債は24億20百万円となり、87百万円減少しました。

🛭 純資産の部

純資産合計は426億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億15百万円減少しました。これは主に自己株式の取得30億66百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益24億41百万円の獲得と、配当金の支払額4億7百万円によるものです。

■連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 自 2016年 4月 1日 至 2016年 9月30日	前中間期 自 2015年 4月 1日 至 2015年 9月30日
売上高	35,822	38,931
売上原価	27,021	30,447
販売費及び一般管理費	6,230	6,634
営業利益	2,570	1,849
営業外収益	755	474
営業外費用	20	30
経常利益	3,306	2,293
特別利益	0	0
特別損失	9	0
税金等調整前四半期純利益	3,296	2,293
法人税、住民税及び事業税	902	591
法人税等調整額	△47	135
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,441	1,567

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 自 2016年 4月 1日 至 2016年 9月30日	前中間期 自 2015年 4月 1日 至 2015年 9月30日
営業活動によるキャッシュ・ フロー	4,368	1,517
投資活動によるキャッシュ・ フロー	239	△3,627
財務活動によるキャッシュ・ フロー	△3,474	△888
現金及び現金同等物に 係わる換算差額	△92	△6
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	1,041	△3,006
現金及び現金同等物の 期首残高	4,664	8,404
現金及び現金同等物の 四半期末残高	5,706	5,398

総資産 (単位: 百万円) 自己資本比率 (単位: %)





国内

■ 株式会社メル	フホールディングス			
商号	株式会社メルコホールディングス	役員		
	(英文社名) MELCO HOLDINGS INC.	代表取締役会長	牧	誠
設立	1986年(昭和61年)7月1日	代表取締役社長	牧	寛之
ēX.11L	1900年(昭和01年)7月1日	取締役副社長	松尾	民男
資本金	10億円	専務取締役	斉木	邦明
		取締役	津坂	巌
事業内容	メルコグループの純粋持株会社	取締役	箕浦	啓進
	傘下事業会社の株式を所有し、事業活動支援、経営指導を通じて統括管理を行う	常勤監査役	続木	政直
従業員数	21名、メルコグループ連結733名	監査役	青山	高美
(近未貝奴	21句、	監査役	小栗	章雄
グループ企業	会社数18社(国内10社、海外8社)			

■株式会社バッ	ッファロー	
商号	株式会社バッファロー (英文社名) BUFFALO INC.	役員 代表取締役社長 斉木 邦明
創業	1975年(昭和50年)5月1日	取締役副社長 松尾 民男常務取締役 渡邊 泰治
設立	1978年(昭和53年)8月5日	常務取締役 井上 武彦 取締役 関 博式
資本金	3億20百万円	取締役
事業内容	デジタル家電及びコンピュータ周辺機器の開発、製造、販売	取締役 小川 秀和 取締役 竹藤 晴之
従業員数	458名	監査役 大嶋 健康
事業所	本社 〒460-8315 名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル 東京支店 〒104-0033 東京都中央区新川一丁目21番2号 茅場町タワー 大阪支店 〒532-0003 大阪市淀川区宮原四丁目1番14号 住友生命新大阪北ビル 北海道営業所 〒060-0031 札幌市中央区北一条東一丁目4番1号 サン経成ビル 東北営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡四丁目5番22号 宮城野センタービル 関東営業所 〒104-0033 東京都中央区新川一丁目21番2号 茅場町タワー 中部営業所 〒460-8315 名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル 中四国営業所 〒730-0015 広島市中区橋本町10番10号 広島インテス 九州営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前四丁目9番2号 YAOJIセンタービル	TEL.011-200-8150 FAX.011-200-8151 TEL.022-291-0311 FAX.022-298-9470 TEL.03-3523-3342 FAX.03-3523-3320 TEL.052-249-6600 FAX.052-249-6601 TEL.050-5830-8888 FAX.082-221-8612

■ シー・エフ・デー販売株式会社

パソコンパーツの総合サプライヤー

■ 株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ

ネットワークインフラの構築・施工・保守

■ 株式会社バッファローメモリ

電子部品・電子応用製品の開発・販売

■ 株式会社バイオス

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

メルコフィナンシャルホールディングス株式会社

グループにおける金融事業の統括管理

■ メルコインベストメンツ株式会社

投資運用業・金融商品仲介業

海外

■〈米国〉BUFFALO AMERICAS. INC.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

■〈欧州〉BUFFALO EU B.V.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

■〈中国〉巴法絡(亞洲)有限公司

製品調達、製品管理及び国際物流

■〈台湾〉巴比禄股份有限公司

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

■〈シンガポール〉Melco Capital Pte. Ltd.

投資運用業

■株式の状況

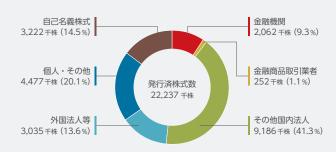
発行済株式数 22.237.873株 (自己株式3.222.300株含む) 株主数 6.243名

■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社マキス	8,485	44.6
牧 誠	630	3.3
牧 寛之	617	3.3
牧 大介	617	3.3
株式会社名古屋銀行	501	2.6
公益財団法人メルコ学術振興財団	500	2.6
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	340	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	325	1.7
THE BANK OF NEW YORK 133522	289	1.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	244	1.3

(注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 所有者別分布状況



- (注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
 - 2. 構成比率は、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。

^{2.} 持株比率は、自己株式を控除して計算し、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。

株主メモ

決 算 期 日 3月31日

定時株主総会 6月

株主確定基準日 議決権行使株主 3月31日

期末配当金受領株主 3月31日 中間配当金受領株主 9月30日

上場証券取引所 東証・名証一部

証券コード 6676 1単元の株式数 100株

公 告 の 方 法 電子公告 http://melco-hd.jp/koukoku/

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

同 連絡 先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

◎電話照会先

TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル) 土・日・祝日を除く9:00~17:00

幹事証券会社 (主)大和証券

(副)野村證券、みずほ証券、SMBC日興証券

株式会社 メルコホールディングス (証券コード6676)

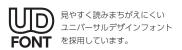
本 社 〒460-8315 名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル TEL.052-251-6891(代) FAX.052-249-6609

株式会社/ベッファロー

本 社 〒460-8315 名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル TEL.052-249-6610(代) FAX.052-249-6609

東京支店 〒104-0033 東京都中央区新川一丁目21番2号 茅場町タワー TEL.03-3523-3333(代) FAX.03-3523-3300





■ウェブサイトのご案内

株式会社メルコホールディングス

最新ニュースや会社情報、投資家様向け情報などを提供して おります。



melco-hd.jp

株式会社バッファロー

メルコグループの中核企業のサイトで製品情報を中心に提供 しております。



שביש buffalo.jp



תובר m.buffalo.jp